

【ナーシングケア】

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します
(※かんたき=看護小規模多機能型居宅介護 / 看取り対応可能)

Nursing Care



(※利用者の範囲は制度により限定されています。裏面の施設一覧をご覧ください。)

自宅で、或いは【かんたき】で
寄り添い、癒し、治し、そして看取る



仕事を続けながら親の介護・家族介護のできる環境設定

【かんたき】の営業時間：年中無休

通い：7:00～21:30

(送迎サービス：初発7:00 自宅着～最終21:30 自宅着)

泊まり：21:30～7:00

※尚、緊急時医療介護相談は各施設にて24時間体制で受付けています。

24時間・365日の介護サービス

仕事と介護の両立を目指して



表紙：訪問看護ステーション尼崎 作業療法士 由中 恵

Nursing Healthcare ナーシングヘルスケア株式会社

Information

総合在宅ケアサービスセンター〈かんたき(有床)+訪問看護ステーション+ケアプランセンター〉

かんたき(看護小規模多機能型居宅介護)とは

介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で療養できるように「通い」「泊まり」「訪問(看護・リハビリ・介護)」を必要に応じ、組み合わせて利用できる地域密着型の介護サービス。ご利用者は要介護度1～5、事業所の所在地の市町村区にお住まいの方が対象となります。



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター上新庄
所在地 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新2-9-8
TEL 06-6815-8808
Mail kamishinjou-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター城東
所在地 〒536-0011 大阪市城東区放出西2-14-14
TEL 06-6167-0535
Mail jyoto-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター大東
所在地 〒574-0055 大東市新田本町4番26号
TEL 072-806-3400
Mail daitou-kangotakinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター堺下田
所在地 〒593-8329 堺市西区下田町19番15号
TEL 072-269-0505
Mail sakai-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室
総合在宅ケアサービスセンター尼崎
所在地 〒661-0965 尼崎市次屋1丁目9番1号
TEL 06-6498-0894
Mail amagasaki-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
総合在宅ケアサービスセンター児島
所在地 〒711-0913 倉敷市児島味野1丁目4番23号
TEL 086-470-5600
Mail kojima-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた
かんたき河内長野 看取り対応可能 ケアルーム7室
所在地 〒586-0011 河内長野市汐の宮町12番2号
TEL 0721-56-8655
Mail kawachinagano-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター八尾北本町
所在地 〒581-0802 八尾市北本町4丁目7番14号
TEL 072-923-9200
Mail yaokita-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室
かんたき武庫之荘
所在地 〒661-0045 尼崎市武庫豊町2丁目12番6号
TEL 06-6431-5535
Mail mukonosou-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室
総合在宅ケアサービスセンター住之江
所在地 〒559-0006 大阪市住之江区浜口西2丁目5番4号
TEL 06-6673-2411
Mail suminoe-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた
かんたき堺長尾 看取り対応可能 ケアルーム9室
所在地 〒591-8045 堺市北区南長尾町2丁目2番19号
TEL 072-257-1710
Mail sakainagao-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた
かんたき堺高倉台(仮) 看取り対応可能 ケアルーム9室
所在地 〒590-0117 堺市南区高倉台2丁目8-13 (地番)
TEL 06-6312-5000 (ナーシングヘルスケア本部)
2020年4月開設予定

〈【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します〉

訪問看護ステーション

訪問看護ステーション摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-6317-8567

ケアプランセンター

ケアプランセンター摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号
TEL:06-4860-8277



発行 2019年8月 / ナーシングヘルスケア株式会社
編集 営業広報部・企画デザイン室
〒530-0047 大阪市北区西天満4丁目11番23号 満電ビル
TEL:06-6312-5000 FAX:06-6312-5099
Mail:info@nursing-hc.co.jp http://www.nursing-hc.co.jp



倉敷市

倉敷医療生活協同組合

総合病院 水島協同病院



入院で変化した情態をどう整えるかが、
私たちの役目と捉えています。

かんたき児島 管理者
山原 陽子 看護師

地域連携・
患者サポートセンター
副センター長
市川 美和 看護師長

地域連携・
患者サポートセンター
医療福祉相談室 室長
森田 千賀子
医療ソーシャルワーカー

総合病院 水島協同病院
岡山県倉敷市水島南春日町1-1
TEL: 086-444-3211 (代)
病床数: 282床



センター機能をもつ病院として
水島地区を支える

岡山県倉敷南部水島地区にある水島協同病院は、(病床数282床/急性期222床、慢性期60床)この地域の中で重要な役割を担っています。

入院される患者さんの大半が高齢者が占める状況の中、地域連携・患者サポートセンターは、出来る限り短期間に、元の生活に戻っていただくための退院支援を病棟の病棟看護師と連携を取りながら看護師、医療ソーシャルワーカーの12名でサポートし、進めています。

当院の患者さんの多くは退院後ご自宅に戻れますが、急性期という病院の特性上、必ずしも万全とはいえない状態で退院される方も多くいます。

誤嚥性肺炎による口からのお食事が難しくなり経鼻経管栄養や吸引、胃ろうなど医療的処置が必要となったり、入院をきっかけに排泄の自立ができなくなり「おむつ」の使用、認知症の症状があるなど病気に伴う患者さんの状況の変化と、長期にわたる老老介護による介護者の疲労や就労のため介護が担えないなどの理由で、どうしても転院または看護師の対応が可能な施設へ入所をせざるを得ません。

情態の変化に戸惑う患者さんやご家族へ看護師の立場から病状の把握と治療方針を理解してもらい、継続治療が必要な場合はきちんと伝え、それをしっかりと受け止めていただいた上で「生活をどう整えるか」が退院支援をする上で最も気を付けているところです。

介護者がいない一人暮らしの患者さんをどう支えるか。

この地域も全国平均並みに高齢化が



進み、独居の割合も高くなっています。

工業地帯ということもあり、仕事のため水島地区で暮らし、ご家族は遠方にいらつしやる方が多く、お電話でご家族に入院の様子や病状を説明しても「実感が無い」という様子で、介護の手は、ほとんど期待できません。

「こんな状態では家に帰れません。施設に入所したいです」と、医療福祉相談室に来られる患者さんも多く、かといつてすぐに施設入所は難しい。まず患者さんが「何に困っているのか」「何が不安なのか」「何が希望なのか」「何をしたいのか」などをしっかりと伺いし、その上で具体的に居宅サービスを利用することをイメージしながら、退院後の暮らしを見据えた生活の立て直しのコーディネートをしていただいています。

ご家族が介護をされる場合は、おむつ交換や床ずれの処置など家でできる介護の指導を「家族で大丈夫」という目処が立つまで時間がかかってもご指導しています。どうしてもご家族だけでは不安な場合は、訪問看護ステーションの訪問看護師やデイサービスのスタッフに立ち会っていただき在宅サービスのスタッフと連携して支える体制



を取れるようにし、少しでも患者さんの不安の解消とご家族の安心に繋がるようにサポートを心がけています。

在宅での生活を見据えて。

家に帰ると患者さんは一番いい顔をしています。「家」とはそういう安心できる場所であると思っています。

「家の片付けをしたい」「ちよつとでも家で過ごしたい」という思いに例え方全な体制でなくても可能な限り家に帰らせてあげたいという思いは強いです。

以前に病棟看護師と協力してご自宅まで同行し2泊3日の一時帰宅を早急に対応した事例があります。最期は病院で亡くなりましたが、ご家族は「少しでも家に帰らせてあげた」という思いが穏やかに見送られる一助になればと思っています。連携が取れていると在宅では「何が早急に準備ができます。急性期の水島協同病院から在宅へという流れの中で、訪問看護師

や介護施設の介護士に急性期での入院の様子が伝わっていれば、患者さんも安心して過ごされると思います。

「かんたき児島」に期待すること

介護を担うご家族にとって退院後在宅療養を支えるにあたり「かんたき児島」は、急性期治療を終えた慢性疾患、医療処置が必要な患者さんに看護師の医療の眼が行き届いていることや、病状が不安定な期間の体調管理、施設入所を希望される患者さんのためのワンクッションとしての役割、ご自宅で療養しているがん患者さんの抗がん剤治療などを「かんたき」と連携できると安心して在宅療養を託せます。

「かんたき」のような在宅サービス事業所も含め、さらに地域連携を深めるために当病院では『医療介護連携学習会』の開催や『水島地域連携ネットワーク会』、病院訪問など開業医の先生方やケアマネジャーなどの交流会などで地域資源のネットワークを深めています。

「退院したけど大丈夫かな」という不安を抱えている患者さんご家族を、ともに支えていきたいと思っています。

～かんたきへのお手紙～

かんたきのご利用者ご家族よりナーシングヘルスケア(株)本社宛にお手紙を頂きました。そのお手紙は、現場で働く「看護・介護」に関わる職員だけでなく本部職員にも励ましとこれからの活力となりました。ご家族のご了解を得て、内容をご紹介します。

かんたき住之江ご利用者ご家族より

先日、7月6日に母の四十九日が終わりました。少し家族の気持ちの整理が出来、落ちつきが戻ってきました。

昨年12月下旬から今年5月22日までかんたき住之江で母が大変お世話になりました。

お礼を言いたくて手紙を書きました。

病院で入院して退院し、すぐにかんたき住之江に行かせていただく事になり、最初は余命1カ月と言われたのに、かんたきさんに行くようになってから段々元気になってきました。

食も細くなってたのに食欲も出て、トイレまでも歩くのが辛そうだったのに元気に歩いて、歌なんか歌ってなかったのに歌ってくれたり、田舎に帰るのも諦めていたのですが、田舎の姉にも会いにいけて喜んでくれました。母の体調に合わせて(気持ちに寄り添っていただき)接して頂いた事 本当に感謝しています。

私も仕事をしながら母の介護を朝から夕方まで、泊まりの日などいろんな体制をしてもらえ、かんたきさんに本当に助かりました。

亡くなる2～3日前から熱が出て、お風呂にも入れなかったからと最後はお風呂に入れてあげましょうと私も手伝ってあげたらお母さん喜んでくれると、お母さんの好きな服も着せてあげましょう、お化粧品も私にさせてくれました。管理者の藤原さんが(母は藤原さんのことをボスと呼んでました(笑))おっしゃって頂き、本当にうれしかったです。一生忘れることの出来ない一日でした。

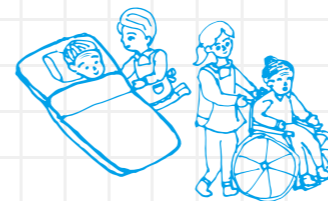
温かいかんたき住之江の皆さんに愛された母は本当に幸せ者だと思います。

病院で最後を迎えるより、本当にかんたき住之江さんで良かったと家族で話しました。

お忙しい中、お通夜まで来て頂き、有難うございます。

そしてこの施設を作って頂いた会社の方にもお礼を言いたくて下手な文章ですが、心よりお礼申し上げます。本当に有難うございました。最後の半年間、母はかんたき住之江で過ごせて幸せだったと思います。本当に感謝しています。

ご夫婦での利用



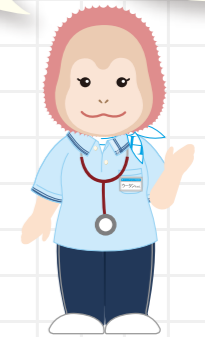
こんな使い方も
できます!

かんたき事例紹介

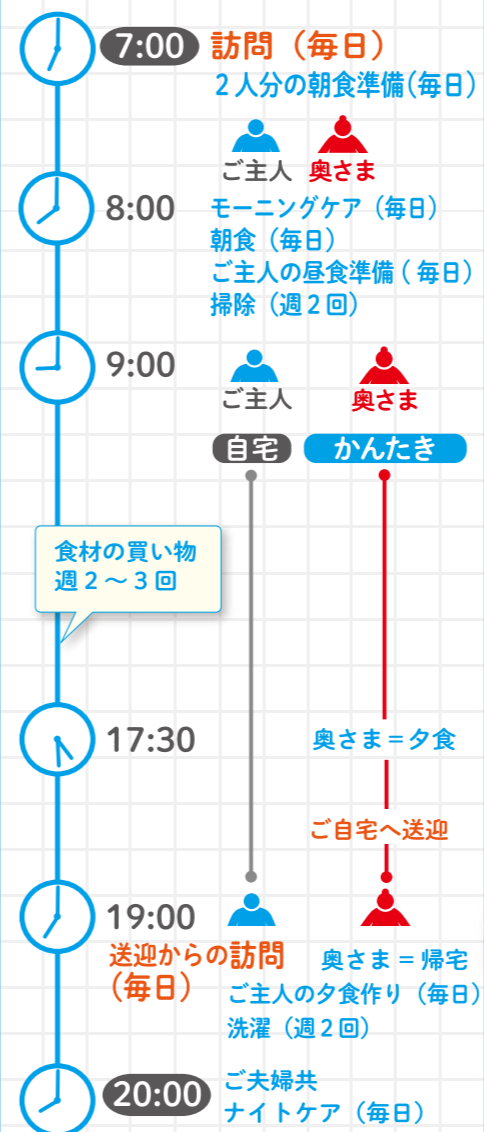
かんたきは「泊まり」「訪問」「通い」を組み合わせて利用できる事業所です。ご利用者のご希望に添って様々な組み合わせで対応しています。一例を紹介します。

奥さまは『かんたき』、 ご主人は『訪問』を中心に自宅介護。

ご夫婦ともに要介護5でありながら、ご自宅にて二人暮らし。ご夫婦とも「かんたき」にご登録されているが、奥さまは「かんたき」通いをご利用、ご主人は強く拒否、ご自宅での生活を主張。利用方法が異なるケースです。



1日のタイムスケジュール(毎日)



- 年齢： ご主人=72歳 奥さま=70歳
- 主な疾患： ご主人=脳梗塞後左半身麻痺
ベッド上での生活。
食事はベッド上臥床のまま自己摂取可能。
排泄はオムツ対応。
奥さま=脳出血後遺症(左半身麻痺)
構音障害にて発語できず
車椅子使用。食事は自己摂取可能
排泄はオムツ
- 要介護度： ご主人=要介護5 奥さま=要介護5

生活援助として、食材の買い物を週2～3回行い、奥さまは朝食分(昼・夕は『かんたき』)、ご主人は3食分をご自宅にて調理し提供。掃除、洗濯は週2回、ナイトケア訪問時に洗濯機を回し次の日の朝に乾燥。ご夫婦それぞれ関わっている司法書士・行政書士さんと密に連絡を取り金銭管理を行っています。ご主人には財産管理受任者が関わって頂き、奥さまには後見人に関わっていただいています。ご主人は入浴を「かんたき」『通い』にてサービス提供しています。



かんたき尼崎 管理者
慢性心不全看護認定看護師
外山 優加理



column

こころのかたち こころの色 思いを紡ぐ
聴診器の向こうがわ

循環器疾患とがんは、ともに生命を脅かす疾患であり、病気の進行とともに全人的な苦痛が増悪することを踏まえて、疾患の初期段階から継続して緩和ケアを必要とする疾患です。緩和ケアに携わるすべての医療従事者等と、地域の医療・介護・福祉にかかわる多職種が連携して支援を行う必要があります。

心不全の再増悪や重症化の予防は、患者さんとご家族、関係者全員が心不全を正確に理解し共通の認識を持った上で、患者さんの自己管理をサポートすることが必要です。また、このようなサポートが苦痛の除去にもつながってきます。患者さんとご家族が療養生活を継続するためには、医療や介護をはじめとした様々な資源につながる事ができるような、地域全体で支えることが求められます。

そのため、地域での支援体制の整備や、医療・介護・福祉で支える地域のネットワークづくりが必要とされ、在宅医療のニーズが高まっています。

「心不全患者さんは入退院を繰り返し、がん患者さんのように穏やかな最期を迎えることができないのだろうか？住み慣れた場所でのケアが受けられるシステムはないのか？」この思いで昨年11月より、

「かんたき」に転職しました。患者さんは在宅に戻られると寝たきりの方が車椅子で過ごしたり、嚥下機能は残っているが食事がとれず、持続点滴であった方がムース食を食べられるようになり、表情が豊かになるなど変化が見られました。「住み慣れた場所」という環境でご本人・ご家族を含め、看護師、介護士、リハビリ職員の日々の関わりがもたらした力に驚いています。

その中で特に印象に残っているご利用者が居ました。

87歳の男性、要介護5、誤嚥性肺炎、慢性心不全の終末期の方です。C.Vポートより高力ローリー輸液中で、入院中から穿刺針の自己抜去を繰り返されてきました。吸引が必要で、家族は吸引手技の練習中でした。在宅への移行に対して不安を感じておられました。しかし、医師より心不全の終末期の状態であると説明されたことを受け、本人の「帰りたい」、「延命を望まない」とご家族の要望があり、「かんたき」のご利用が開始となりました。

退院後、「かんたき」に1週間泊まり、その間に「長女夫婦は吸引点滴作成し交換する手技を習得しご自宅へと移行しました。泊まりの間、ご利用者が穿刺針を自己抜去する行為はありませんでした。週1回通いと、1〜2日の泊まり、それ以外の日は訪問看護・介護を利用して頂きました。徐々に呼吸状態が悪化していく中、ご家族から「最後まで家で看る」と意思表示があり、状態が不安定な時には、通所から、訪問看護に切り替え対応。ご家族に疲労が見られた時には通所に変更しました。某日22時ごろ、呼吸状態の悪化の知らせがあり、翌日の未明にご家族が見守られる中、永眠されました。

後日、ご自宅へ伺うと「長女は「父が息を引き取る前に両手を上げる姿を見て、お母さんがお迎えに来たと感じた。『かんたき』を利用して、サポートがあったから安心して最後まで、家で看取ることができました。思い出をありがとう」という言葉を残されました。

「ご本人がどのように最期を迎えたいのか、その気持ちに寄り添いたいことを、多職種が一体となって支援するのが『かんたき』だと思っています。4つのサービスを総合的に提供できる『かんたき』は、在宅医療の限界を広げることができるとは思いません。在宅医療における「究極のサービス」を提供できる存在として、これからも地域のご利用者へ寄り添い続けたいです。

患者さんの Quality of Lifeの向上が テイジンの理念です。

TEIJIN

帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 PAD(OX)A40(TB)1201

Sericeous Skin®
PREMIUM
病院から生まれた 保湿基礎化粧品

セラシヤススキンは 保湿3因子のバランスが崩れたお肌にこれらの成分をおぎない、うるおいに満ちたお肌に導きます。

化粧水 4,500円(税別)
美容液 5,000円(税別)
クリーム 4,700円(税別)
洗顔石鹸 2,400円(税別)

ご購入はこちらから

Instagram @sericeousskin
Facebook @sericeousskin

ホロニクスヘルスケア(株)
0120-408-218
営業時間(月-金) 9:00-17:00

2020年4月開設予定 堺市南区高倉台

堺市在住の方がご利用になれます

12カ所目の『かんたき』が 新規開設します

※ 介護が必要なご利用者を支える 「通い」「泊まり」「訪問看護」「訪問介護」を 24時間365日提供します

※ 看護小規模 多機能型 居宅介護

「かんたき」はこのようなご利用者が利用されています。

- 1日3回の訪問希望者(看護師・介護士) ※1 医療処置・家事援助
 - ※1 点滴や胃ろう・腸ろうからの注入、呼吸器の使用。買い物や食事準備など
 - 自宅でリハビリを希望している方
 - (登録後)急なお泊りに対応
 - 介護のご家族が介護離職で悩んでいる方
 - 介護のご家族が体調が悪く ※2 レスパイト希望の方
 - ご夫婦一緒にの支援
 - 退院直後の在宅復帰支援
 - がん末期・がん療養(抗がん剤治療)の在宅生活支援
 - 医療ニーズの高い認知症支援
 - 独居高齢者の糖尿病管理(1日数回のインスリン投与)
 - 他施設から利用拒否・老老介護のレスパイト
- ※2 レスパイト(ケア)=介護に当たる家族が一時的に介護から解放されるよう 家族に休息を取ってもらうようするための措置

※送迎いたします。(送迎エリア：堺市)
初発 7:00 自宅着~最終 21:30 自宅着

ご利用内容	
ご利用条件	要介護1~5の認定を受けられた方で 堺市内にお住まいの方 ※ご利用者の状態に合わせて要相談
営業日	365日
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 通い 7:00~21:30 (基本時間) (送迎サービス:初発7:00自宅着~最終21:30自宅着) ● 宿泊 21:30~7:00 (基本時間) ● 訪問看護 24時間対応 (看護師による電話での連絡及び対応体制) ※ご利用者の心身の状況により柔軟に対応いたします。
月額費用	<p>要介護度に応じた定額制 (月単位)</p> <p>介護度別利用者負担金</p> <p>1割負担額</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 要介護1 13,020円 ● 要介護2 18,218円 ● 要介護3 25,609円 ● 要介護4 29,046円 ● 要介護5 32,854円 <p>2割負担額</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 要介護1 26,040円 ● 要介護2 36,436円 ● 要介護3 51,218円 ● 要介護4 58,091円 ● 要介護5 65,708円 <p>※上記の料金は基本部分のみで加算は含まれておりません。</p> <p>《別途必要費用(実費)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宿泊費 3,240円/1泊 ● 食費/朝 300円 ● 食費/昼 500円 おやつ 50円 ● 食費/夜 550円
定員	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録者数/29名 ● 1日の通い定員/18名 ● 1日の宿泊定員/9名



ナーシングヘルスケア株式会社

かんたき堺高倉台(仮)

開設予定地 〒590-0117 堺市南区高倉台2丁目8-13(地番)

詳しくは TEL.06-6312-5000 (開設準備室) (受付時間/平日) 9:00~17:00